

学校支援地域本部事業事業実践現場訪問 【富谷町・あけの平地区学校支援地域本部】

きょう土に伝わる願い・志戸田用水 富谷町立あけの平小学校

1 実施日 平成22年11月15日(木)

2 場 所 富谷町立あけの平小学校

3 あけの平小学校を訪問して

今回訪問したあけの平小学校では、4年生社会科の「きょう土をひらく」の学習で、地域にある「ずい道」(用水路)の説明や案内が学校支援ボランティアからありました。ボランティアはずい道近くに住む方で、大雨時の様子、周辺の地形、ずい道ができた理由などを詳しく児童のみなさんに話していました。昨年まで、あけの平小学校を含め、富谷町内の小学校は「わたしたちの宮城県」に紹介されている「品井沼」の見学に行っていたそうですが、地域にある教材を児童に紹介し、地域を知ることが大切なのではないかと担当の先生の思いが実践に結びつきました。そのことを知ったボランティアの方が、背丈以上もある笹林をきれいに刈り取り見学に備えました。

富谷町は学校支援本部事業の委託を受ける前から、公民館を中心に学校を支援していく体制を整えていました。委託を受けてからも既存の組織のよさを充分活かし事業に取り組んでいます。5つの地区(中学校区)に学校支援地域本部を設け、公民館を拠点に職員・地域コーディネーターと学校担当者が連絡調整を行い、活発な学校支援が行われています。

【取組の様子】



用水路の説明に2名の学校支援のボランティアの方が来られました。



児童のみなさんからたくさんの質問が出ました。



ボランティアの説明を熱心に聞いていました。



笹林は見学のため、ボランティアの方がきれいに刈り込みしました。